

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和四年度十月 入賞句一覧

投句数 千三百三十八句

特選

高木 恵理 選

どんぐりを隠した場所でまち合わせ

大垣市

後藤 彩乃（小五）

秋になると、雑木林の足元をにぎわせるかたくて丸い茶色の木の実。少し気を付けないで探してみると、様々な形や帽子のどんぐりが見つかります。作者が見つけたどんぐりは、どんな形で、どんな帽子だったのかな？きつと、特別などんぐりだったのでしよう。秘密の場所で、大切な友達に見せる時の表情まで浮んでくるような、わくわくする俳句です。

コオロギの鳴き声聞いて本を読む

大垣市

生田 兼進（小六）

こおろぎの鳴き声を聞くと、秋だなあと感じます。風流ですよ。こおろぎは二枚の羽を震わせて音を出すのですが、どうやら、気温の変化でテンポが変わるそうです。秋になり気温が下がってくると、少しゆっくりになるそうですよ。作者も、こおろぎのゆつたりとした音色を聞きながら、今日も本の世界に浸っているのでしょうか。素敵なお夜です。

家の庭においてつつむ金木犀

大垣市

桐山 真維（小六）

金木犀は、ふんわりと優しく甘い香りが特徴的です。あんなに香りが強いのに、とても小さくかわいらしい花をつける謙虚な花です。きつと作者も、金木犀のように穏やかで優しく家族を包んでいるのでしようね。あたたかい俳句です。

秀逸

食の秋ぼくもだいすきソースカツ

大垣市

はぎの いつき（小三）

なつやすみそばかすふえたそとあそび

大垣市

西村 れいま（小三）

みのむしがゆらゆらゆれるフラダンス

大垣市

伊藤 絢音（小三）

おなかすきおおきなりんごまるかじり

大垣市

清水 ちとせ（小五）

銀やんま赤い夕日へ消えていく

大垣市

白石 瑚々海（小五）

土をほる少し見えたよさつまいも

大垣市

高坂 紬（小五）

雲が出て顔が見えないお月様

大垣市

石谷 颯志（小五）

あきのひはたくさんほんをよんでみる

大垣市

山田 唯愛（小六）

田のすみでかすかにゆれる彼岸花

大垣市

豊永 直斗（小六）

せのびして電車見送るひがん花

大垣市

伊藤 蓮人（小四）

入選

銀やんま空をぐるぐるとびまわる

大垣市

宮森 叶多(小四)

すず虫が音をならしておどつてる

大垣市

ロブレス アイリ(小四)

ふんじやつた地面に落ちた銀杏の実

大垣市

安田 悠人(小五)

夕飯でほどよくこげた秋刀魚たべ

大垣市

岡田 穂香(小五)

だいどころつきみだんごをつまみぐい

大垣市

宮崎 碧海(小五)

コスモスが夕日にあたりオレンジに

大垣市

三宅 彩葉(小五)

鰯雲空一面を泳いでる

大垣市

安田 龍生(小六)

下校中ぼうしにつける赤い羽根

大垣市

前川 政季(小六)

すず虫が夜にみんなで歌つてる

大垣市

子安 晴(小六)

うろこ雲すごく大きな竜みたい

大垣市

川瀬 有真(小六)

蟋蟀はやつと出れたと歌い出す

大垣市

深見 佳輔(小六)

金木せいあたり一面いいにおい

大垣市

伊藤 衣知香(小六)

蜻蛉がねあつちこつちへ道迷う

大垣市

福島 千瑛(小六)

すきとおる夜空で月がうたつてる

大垣市

神谷 咲希(小六)

いちようの木風でゆらいで光る星

大垣市

橋本 一輝(小六)

ひぐらしのすこししずかなメッセーじ

大垣市

大野 桃矢(小六)

とまらないぼくの食よくいもごはん

大垣市

野田 朔矢(小四)

ふうりんのもようが回る青い空

大垣市

米津 知晃(小五)

車窓からオレンジ色の秋の空

大垣市

川西 恵雫(小六)

れんしゅうごすいかをたべていきかえる

大垣市

西脇 陽汰(小五)

選者吟

ふくよかな乙女の像や豊の秋

恵理

小中学生の部

